

# イベントの様子

## オープニングイベント 2021年10月27日(水) @ オンライン



参加者の皆さんと zoom で顔合わせして企画内容を伝えました



傘を取りに来てもらうなど、イベント以外での小さな関わりも生まれました



参加者の皆さんには「音威子府」をテーマに傘をデコレーションしてもらいました

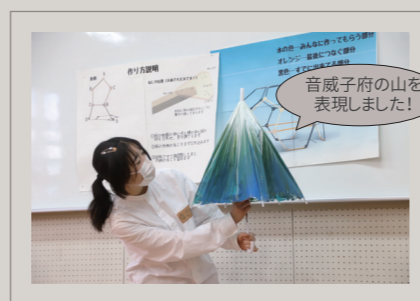
## メインイベント 2021年11月3日(水・祝) @ 旧中学校グラウンド



みんなで協力しながらひとつの大きな作品を組み上げました



傘アレンジ作品の発表会



傘アレンジ作品の発表会



高校生と大学生だけではなく、村の色々な方が関わって「おといねっぶパビリオン」が完成しました



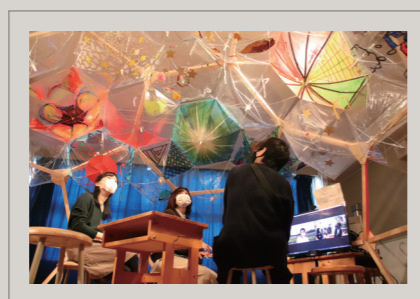
土里夢の会のパン販売も同時開催



## アフターイベント 2021年11月9日(火)・11月21日(日) @ オンライン



オンラインでイベントの振り返りをしました



パビリオンの裏話をお伝える、「東大生と話ませんか？」企画



子ども達もたくさん来てくれました



イベントオンラインの様子は、村の Youtube チャンネルで見ることができます！是非ご覧ください！

## 音威子府パビリオンの目標

みんなが集い、交流する  
「機会」と「場」をつくっていくこと

(パビリオン制作は、そのための「手段」。  
学生は、地域内外の交流推進の「つなぎ役」として、村民(プロジェクトチーム)と連携、協働し携わる。)

パビリオン制作に関わった方の総数

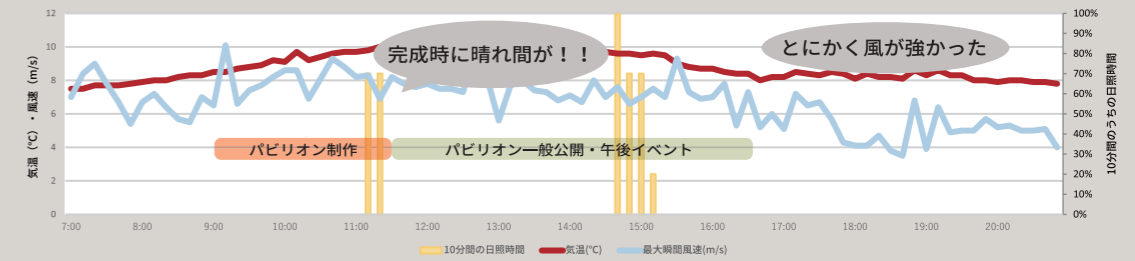
28+a 人

メインイベント来場者総数

100+a 人

小さい子からご年配の方まで幅広い世代にお越しいただきました！

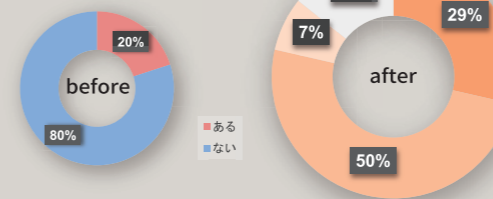
メインイベント当日(2021.11.3)の天候 (出典: 気象庁 過去の気象データ)



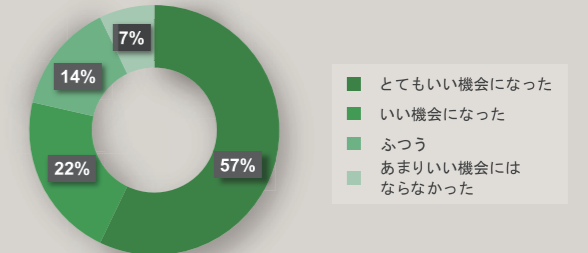
## アンケート分析結果

参加募集時、高校生に事前アンケートへの回答をお願いします。(当日参加の方は含んでいません。)  
またイベント終了後、実際にパビリオン制作に関わった参加者に加えて、メインイベントに訪れた役場職員の方々にも事後アンケートにご回答いただきました。(高校生 5 人、役場職員 10 人にご回答いただきました。)

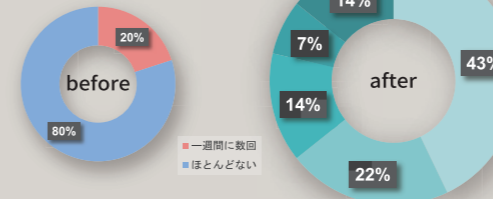
村民同士での交流



音威子府について考える機会になりましたか?



村の外部の人との交流



その他アンケートからわかったこと

今回は交流のターゲットを高校生に重点をおいた結果、そこには密な交流が生まれた。一方で、十分に話す機会がなかった参加者もいたのが事実で、**回を重ねながら少しずつ輪を広げていく**必要がある。

※アンケートにご協力いただいた皆様、心より感謝申し上げます。

## アクティビティ調査・参加者の声



交流する手法の一つに今回のような大きなものを協力してつくることがあるのを学んだ (おと高生)

色々な世代の人がいて、各々の楽しみ方で参加できていて良いと思いました (参加した役場職員)

ふだんはすれ違っても挨拶することをためらってしまふ小学生と仲良くなれて、次あの子たちに会ったときは気軽に話せそうです! (おと高生)

## 考察と展望

■パビリオン制作が会話のきっかけに  
パビリオンという一つの大きなものを全員で協力して作り上げることにより、偶発的に会話が生まれ、その後の交流のきっかけになった。

■多世代間の交流の機会に  
多様な関わり方を受容するイベントであったため、**世代を超えて村民同士の接点**がいくつも生まれた。

■今後の企画段階からの参加  
高校3年生は来年から音威子府を離れてしまうが、このような取り組みに**継続的に関わりたい**という強い意欲を見せてくれた。

■企画内容のわかりやすさ  
一方で、初めての企画ということもあって、募集段階で内容があまり見えてこなかったという課題があった。「**分かりやすさ**」がより求められる。